

宇部フロンティア大学付属香川高等学校 ユネスコ部

高校生ボランティア・アワード
2022

活動概要

地域の繊維会社から端切れを提供していただき、反射材を縫い込んだ安全ポシェットや安全リストシュシュを製作しています。被服実習の授業で余ったレース生地やフリルをデザインに施し、個性のある楽しい作品製作に努めています。これらは地元の警察署に出荷したり、他にも製作しているマスクなどの小物と共にチャリティーバザーを開いたりして売上金を寄付しています。特に安全リストシュシュは、バッグに入れておけば仕事帰りなど薄暗くなった時にすぐに取り出して手軽に装着できることから、好評で愛用者が増えています。安全ポシェットは、紐部分とバッグのデザインに反射材を使用しており、携帯・財布・ドリンクなどを入れることで、タスキだけの商品より重さが加わって紐が肩からずり落ちにくく、安定して使いやすいとの声もいただいています。

製作活動



製作品



安全ポシェット



安全リストシュシュ

安全ポシェットの製作

安全リストシュシュの製作

◎反射材を用いた

安全ポシェット
安全リストシュシュ

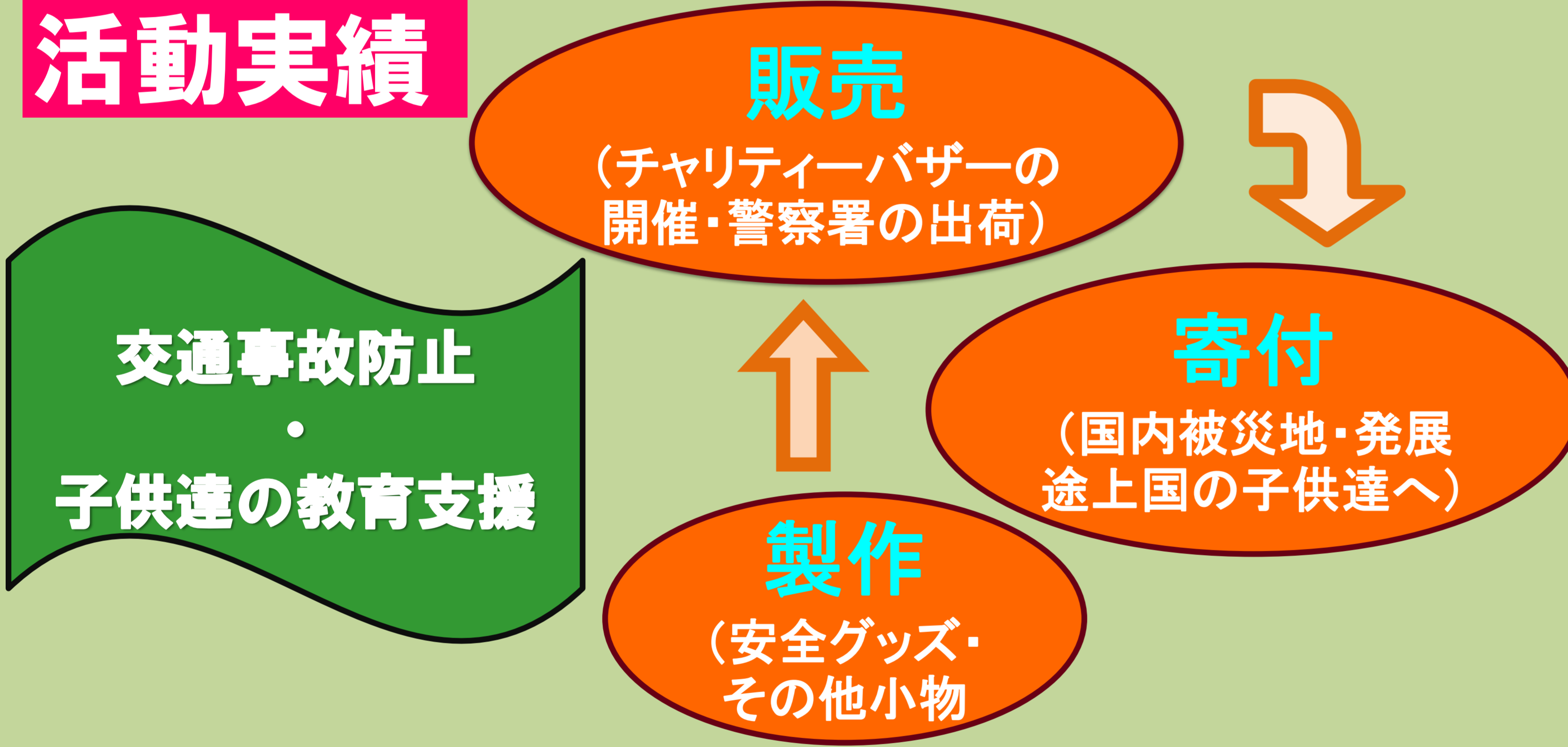
▶ 地元警察署に出荷 ▶ 地元住民の**反射材の普及**

◎小物（縫製用品など）の製作

▶ **チャリティーバザー**や
ワークショップでの販売 ▶ 発展途上国や国内被災地の教育資金として**寄付**

◎街頭募金 (世界寺子屋運動)

活動実績



安全ポシェット
反射材付き安全リストシュシュの製作

- ・地元の警察署へ出荷
- ・チャリティーバザーで販売 (地元の祭りや文化祭にて)

反射材の普及 (収益金の寄付)

・小物製作 (マスク、アクセサリ、キーホルダー等)

- ・チャリティーバザーの開催
- ・ワークショップの開催
- ・街頭募金活動 (世界寺子屋運動など)

収益金の寄付

活動目的・志

「私たちの力で社会が変わる」

私たちの**技術・知恵**を使って、**よりよい社会づくり**を目指しています。

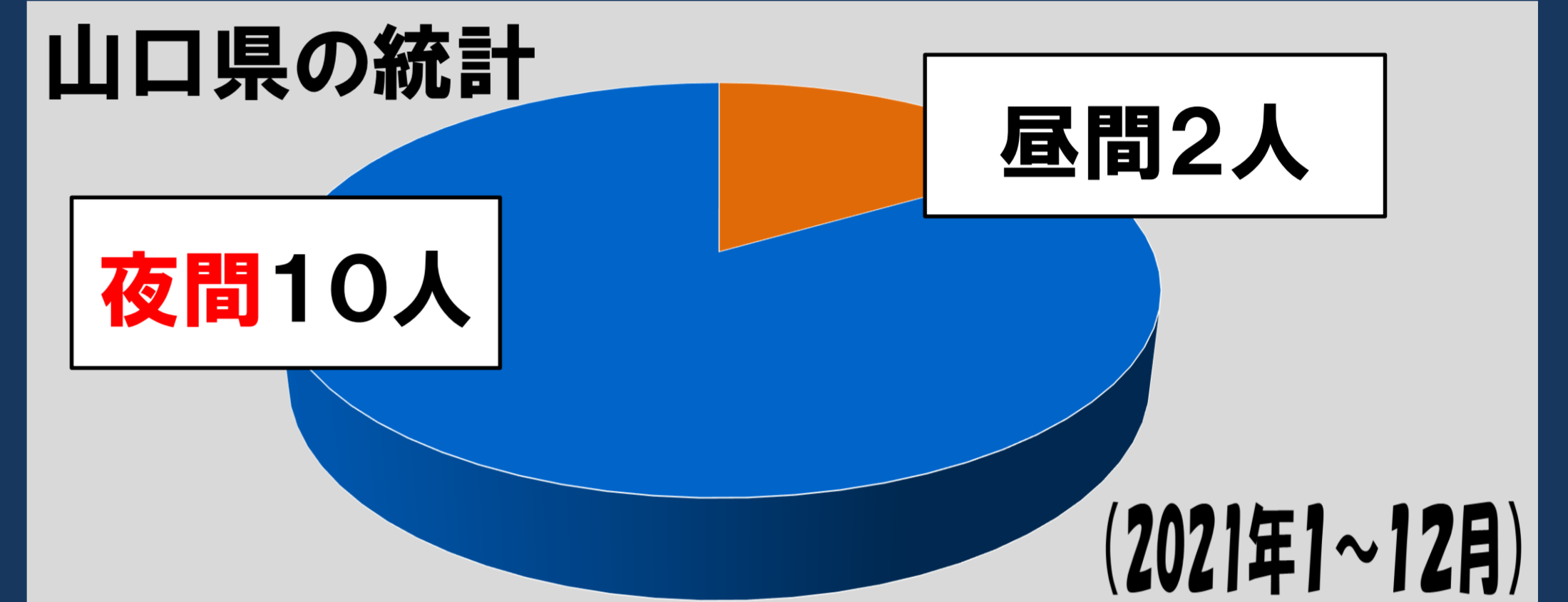
私達ユネスコ部の活動目標は、

- 一、日中より多い夜間事故被害者とその加害者を一人でも無くす事。
- 一、街頭募金や製作した安全グッズ・小物の売上金を恵まれない国内外の子ども達の教育資金として寄付する事。

◎下記統計のように、地元山口県では夜間の歩行者事故による死亡者はなんと**昼間の5倍**で、**犠牲者全員が、反射板を身につけていませんでした。**もし、反射材を身につけていれば犠牲者も加害者も出さずに済んだかも知れません。**私たちは夜間事故の死亡者ゼロを目指し、コツコツと安全グッズを製作し普及に努めます。**

歩行者事故**死亡者**12人中の昼・夜別統計図

注意：昼間とは日の出から日の入りの間



反射材
あり



反射材
なし

【上の写真のように**反射材の効果は絶大**】

街頭募金・安全グッズや小物を製作販売し、収益金を寄付することで**貧困・災害で苦しむ多くの子ども達が資金不足のために、教育や自立を妨げられることのないよう地道に継続していきます。**

地元の祭りで チャリティーバザー



今後の展望

地元では過疎化が進み、街灯の少ないところも沢山あります。そのような環境下、高齢者人口が増えるにつれ交通事故の犠牲者も今後ますます増加することが危惧されます。授業で学んでいる縫製技術・デザイン力を磨き、より魅力的な安全グッズを開発し普及に努めていくことで、交通安全の啓蒙につなげていきます。また、更に地域の実態や、使用される方々の希望を調査し、実状に合った活動内容へと進化させていきます。

『**平和を築くには、貧困の連鎖を断ち切るための取り組みが必要不可欠。未来を切り拓く力は基本的人権である「教育」によって育まれる。**』のユネスコの理念に基づき、今後も小物製作・チャリティーバザー・街頭募金に自分の多くの時間を費やし、**災害や貧困で学びをあきらめる子ども達が一人でも減少するよう頑張っていきます。**

また、**地域の小学生や高齢者に安全ポシェットとリストシュシュの制作方法をレクチャーしながら共に制作する機会を設け、交通安全への意識を高めてもらう活動を展開したいと考えています。**



活動団体プロフィール

3年生3名・2年生1名・1年生1名で活動しています。小物作りが好きな人たちでシュシュやかばんなどを製作しています。販売するからにはプロ意識をもって製作し、不良品を出さないよう十分に点検して出荷しています。尊い命を守るための安全グッズを1つでも多く製作し、貧困や災害に苦しむ子供たちが十分な教育を受けられるよう頑張っています。